

さが“食と農”絆づくりプロジェクト推進事業

協働の相手(名称)	食農教育、地産地消、都市農村交流に取り組むCSO		
事業年度	平成18年度～22年度		
県の担当部署	生産者支援課 食と農の絆づくり担当 直通電話 0952-25-7115		
県の予算額	8,105千円	協働の形態	事業協力

目指す姿

農業者と消費者が「食」と「農」について相互に理解を深め、信頼関係を築き上げることで、本県農業・農村の振興を図る。

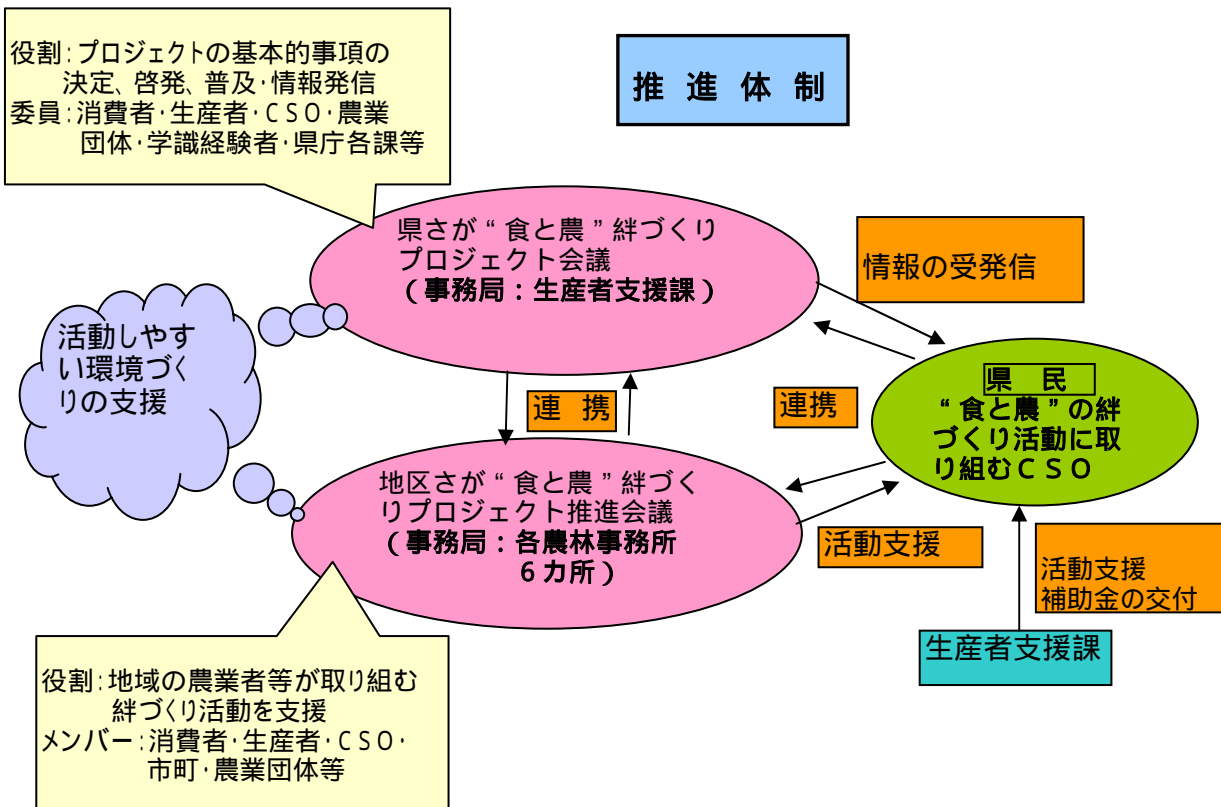
事業概要

県民に、食料や農業に関して一層理解してもらい、消費者と生産者の厚い信頼関係を築き上げるため、「食農教育」や「地産地消」、「都市農村交流」を一体的に進める「さが“食と農”絆づくりプロジェクト」を県民協働で展開する。

協働の背景

これまでの行政主導の実践活動では一過性となりがちで、消費者の真の農業理解につながりにくい面があったことから、県民協働により、地域住民や農業者等が主体的に実践活動を行えるような環境づくりや支援を行っていくこととした。

協働の内容





学校給食への地元産農産物の活用促進
生徒たちによる給食用ほ場の見学



プロジェクト会議と連携し、農業者等による
「さがグリーン・ツーリズム研究会」の発足

協働の成果

- ・県段階においては、専門性のあるCSOがプロジェクト会議に参画することにより、より効果的な“食と農”絆づくり活動の実施や支援が行われるようになった。
- ・地区段階においては、地元に着した、CSOによる自主的・継続的な活動が盛んに行なわれるようになった。

県民のメリット

安全・安心な農産物への期待の高まりや食農教育の必要性など、県民の方々の優先的な課題をいち早くキャッチできることで、県民や地域の期待に応える事業展開が図られ、ニーズの高い情報を県民や地域に届けることができた。

今後の展望

プロジェクト会議等におけるこれまでの検討内容や活動の成果を踏まえ、食と農に関する情報発信、啓発資料の作成、農業者による食農教育活動などをコーディネートしていく。
また、“食と農”絆づくりプロジェクトを推進できるCSOを育成し、地域において自主的に継続的な取組として定着させていきたい。